

秦野市立本町中学校

研究テーマ：より良く生きるための豊かな心を育む道德教育の充実
～充実した学校生活を送ろうとする心を育てる道德科の指導～

1、実践の目的

本校では、平成29年度より望ましい人間関係のあり方に注目した『豊かな心を育む道德教育の充実』をテーマとし、今までの取り組みを生かしながら、「道德授業の充実」「異年齢集団での体験的・主体的学習の充実」を1つの柱とし、さらに令和元年度は道德が「特別な教科」として位置づけられたことを踏まえ、「その評価の在り方」について研究してきた。こうした現状を踏まえ、再び望ましい人間関係の構築に注目し、『より良く生きるための豊かな心を育む道德教育の充実』～考え、議論する道德科の指導の工夫～をテーマ、「生徒が自ら考え理解し、主体的に学習に取り組む授業展開の工夫」「中学生を取り巻く課題について考える道德授業の工夫」をサブテーマとし、今までの取り組みを生かしながら、本校が目指す生徒像に向けて研究を進めることとした。

2、実践の内容

(1) 校内研究の体制

研究の組織を生徒会活動と各学年会中心とし、生徒活動推進部長と各学年主任を研究推進委員の一員とした。実践的活動を通して、人間関係構築に係る望ましい心情を育て、スキルを身につけることで、人間関係のトラブル解消に取り組んでいく。月1回、学年会・校内研究推進委員会を実施している。学校研究の推進委員は、研究を総括し、まとめ・相談役となることとし、全職員で取

り組める体制づくりに努めている。

(2) 校内研修会の様子

- 4月…研究の進め方・役割分担等の検討
- 5月…研究テーマ等の原案検討
- 6月…研究テーマ等の原案検討・決定
- 7月…研究推進の確認・必要事項の検討・担当ごとの研究推進・公開授業に準備
- 8月…学年ごとに指導案の検討
- 9月…道德プレ授業・学年ごとに授業の検討
- 10月…道德公開授業（20日：3年、支援級）・全体研修会
- 11月…道德公開授業（1日：2年、4日：1年）・担当ごとに、研究のまとめ
- 1月…研究のまとめと次年度の研究について

(3) 研究授業、研究協議の様子

今年度は、人間関係の構築に係る心情の育成や多様な価値観の受容等を目的として、「考え、議論する道德の指導の工夫」、「生徒が自ら考え理解し、主体的に学習に取り組む授業展開の工夫」、「中学生を取り巻く課題について考える道德授業の工夫」に取り組んでいる。方法として、学年ごとに指導案を作成し、授業を行う。該当学年外の先生は、授業参観を行い、授業参観後に授業実践者に

感想等を提出している。



10月20日に行われた研究授業後、「考え、議論する道徳科の指導」・「授業について気づいた点」を柱とするグループ討議を行った。協議後には、講師である実践女子大学非常勤講師の福田鉄雄先生による「生徒も教師も楽しいと感じる道徳科の授業づくり」についての講演会を行った。

(4) ICTの活用

指導案の作成及び授業時の資料の提示において、ICT機器を活用して、各学年授業づくりを進めた。

1学年教材「裏庭での出来事」では、登場人物の心情を考える際に、役割演技をする場面があったが、同じ教材を使った特別支援学級の生徒には、場面や内容の把握が難しいため、パワーポイントを使って問題の焦点を捉えやすくした。また、挙手での発言やグループ討議が難しいため、学習アプリ「ロイロノート」を活用し、考えをまとめ、モニターで共有しながら授業を進めた。

2学年教材「たったひとつのたからもの」では、登場人物の実際の写真や映像を提示することで、精一杯生きることの大切さや生命の尊さについて、深く考えることができた。

3学年教材「カーテンの向こう」では、教科書は開かず、パネルシアターを活用し、人間の美しい行為に気づいたときの驚愕や良心の痛みを共感することができた。

3、実践の成果

今年度の研究を通して、職員の道徳教育や授業への取り組みがとても高まったと思われる。これまで道徳の授業は各クラスの担任が行うため、授業の進め方などが担任毎に違い、共有できていない部分も多くあった。同じ教材同じ授業を見合うことで、その授業の主題をどのようにわかりやすく生徒に理解してもらうか、主題の捉え方や授業の展開の工夫のアイデアを学び合うことができたのではないかと感じた。範読の仕方や板書、生徒への言葉かけなど、細かなところまで学年ごとに研究を進める中で、話し合いや議論を通じて考えを深めるための手段をそれぞれに実践することができた。

4、今後の展開

授業の展開や手法だけではなく、教員の道徳の捉え方が「教える」から「ともに考える」に変化したことも大きな成果だったと考えられる。公開授業後の福田鉄雄先生による講演の中で、「読み物道徳」や「押し付け道徳」ではなく、「主体的な学び」の視点に立ち、「考え、議論する道徳」の必要性を学ぶことができた。そして、生徒が楽しいと感じる授業には、「考えたい、考えたくなる工夫」「友達と議論したくなる工夫」「生き方についてもっと深く考えたくなる工夫」が必要とご教示いただいた。これらの指導方法の工夫については、今後さらに研究を深める必要があると考える。

今回の研究の成果をもとに、さらに道徳教育の充実を図り、他の教育活動と結びつけながら本校の生徒の心の成長につなげていきたい。